

平成28年度当初予算等の概要



三木市 Miki City

目次

✚ 予算総括（一般会計）	1
✚ 一般会計 歳入歳出予算額の内訳	2
✚ 市民1人当たりの予算の使いみち	3
✚ 特別会計	4
✚ 企業会計	5
✚ 市債残高及び基金残高の推移	6
✚ 健全化判断比率及び財政指標	7
✚ 地方創生関連交付金を活用した事業	8
✚ 平成27年度3月補正予算の概要	9

予算総括（一般会計）

平成28年度当初予算は、三木の将来像を描いた「三木市創生計画 人口ビジョン・総合戦略」に基づき、創生計画を前倒しで実施するための平成27年度3月補正予算と一体となって編成し、前年度比4.7億円（1.6%）の増加となりました。

「しごとを創る」、「まちのにぎわいをつくる」、「教育・福祉を充実する」の3点に重点を置いて取り組み、雇用を創出・拡大し若者定住を促進する「元気で活力のあるまち」、少子高齢化に対応した「多世代共生の住みよいまち」、安心して子育てできる「豊かなくらしができるまち」をめざします。

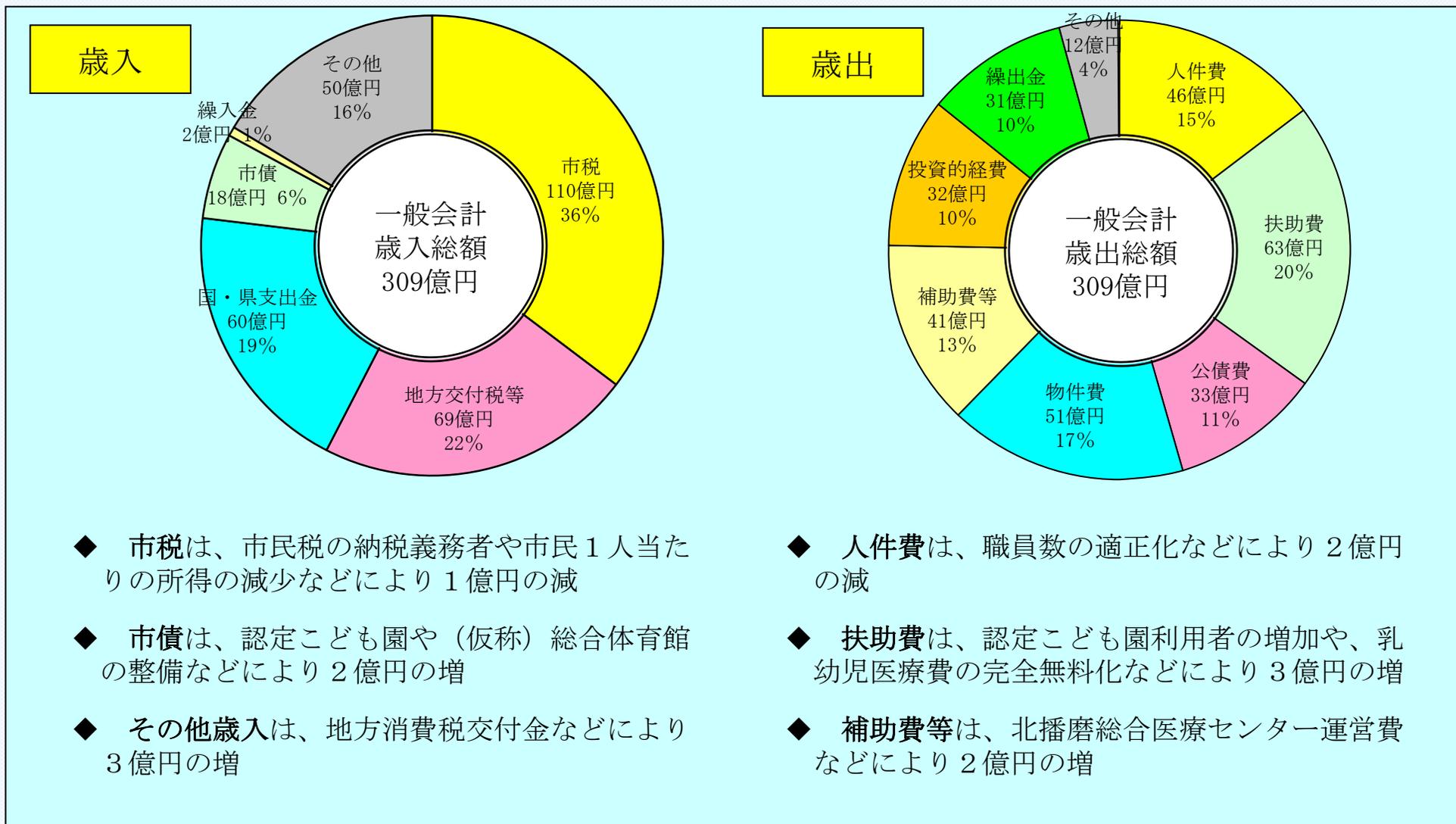
また、平成27年度3月補正予算では、国の地方創生加速化交付金を活用し、三木の地場産業である「金物」「山田錦」の振興や、市内観光の推進による市街地の活性化に取り組みます。

なお、赤字解消のための基金は、引き続き「取り崩しゼロ」としています。

	平成28年度 予 算	平成27年度 予 算	対 前 年 度	
			増 減 額	増減比
当 初 予 算 額（A）	309.4億円	304.7億円	4.7億円	1.6%
3月補正予算額（B）	11.1億円	3.0億円	8.1億円	270.0%
合 計（A+B）	320.5億円	307.7億円	12.8億円	4.2%
赤字解消のための 基金取崩額	ゼロ	ゼロ	—	—

※平成28年度当初予算額については、予算案は310.2億円でしたが、別所ゆめ街道カフェテラス整備事業費が市議会で減額修正され309.4億円となりました。

一般会計 歳入歳出予算額の内訳



- ◆ **市税**は、市民税の納税義務者や市民1人当たりの所得の減少などにより1億円の減
- ◆ **市債**は、認定こども園や（仮称）総合体育館の整備などにより2億円の増
- ◆ **その他歳入**は、地方消費税交付金などにより3億円の増

- ◆ **人件費**は、職員数の適正化などにより2億円の減
- ◆ **扶助費**は、認定こども園利用者の増加や、乳幼児医療費の完全無料化などにより3億円の増
- ◆ **補助費等**は、北播磨総合医療センター運営費などにより2億円の増

市民1人当たりの予算の使いみち

平成28年度は、市民1人当たり390,000円（前年度比8,000円、2.1%増）

- ・認定こども園の整備や、中学生までの医療費無料化など、福祉や医療の充実で10,000円増加
- ・バス交通の見直しなど公共交通政策の充実により、公園・道路・まちづくりで5,000円増加
- ・教育は4,000円の減少となっているものの、国の補正予算を活用して学校施設の改修を前倒しで実施するため、実質的には前年度より1,000円増加

区 分	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	差 引 C (A - B)	増減率 C/B×100
福祉や医療の充実	158,000円	148,000円	10,000円	6.8%
教育	41,000円	45,000円	△4,000円	△8.9%
借金の返済	41,000円	45,000円	△4,000円	△8.9%
議会・行政運営	41,000円	43,000円	△2,000円	△4.7%
保健衛生・環境	36,000円	36,000円	0円	—
公園・道路・まちづくり	35,000円	30,000円	5,000円	16.7%
産業・観光・雇用	23,000円	22,000円	1,000円	4.5%
消防・防災	15,000円	13,000円	2,000円	15.4%
合 計	390,000円	382,000円	8,000円	2.1%

(注) 農業土木に係る予算については、直接産業振興に結びつくものではなく、インフラ整備であるため、「公園・道路・まちづくり」に計上

特別会計

国民健康保険会計において、1人当たりの医療費の増加により保険給付費が増加。
また、介護保険会計において、地域包括ケアシステムの実現に向け、新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」の準備に着手。

以上により、特別会計総額は201億円となり、前年度比11億円（5.6%）の増。

国民健康保険

120億3,600万円（8億7,300万円増、7.8%増）

- ◆ 1人当たり医療費の増加
- ◆ 特定健診の受診勧奨を継続

介護保険

65億2,500万円（2,100万円増、0.3%増）

- ◆ 総合事業を一部開始（要支援者向けホームヘルプサービスなど）
- ◆ 総合事業の29年度完全実施に向けての準備

農業共済事業

7,700万円（1,000万円減、11.5%減）

- ◆ 農作物共済の引受面積の減少に伴う共済金額の減

後期高齢者医療事業

11億3,800万円（9,400万円増、9.0%増）

- ◆ 後期高齢者医療保険料の改定

学校給食事業

2億9,900万円（9,100万円増、43.8%増）

- ◆ 27年度の2学期から給食事業を公会計化し、28年度から通年化することによる増

特別会計予算総額

平成28年度	平成27年度	対前年度	
		増減額	増減比
200.8億円	190.1億円	10.7億円	5.6%

企業会計

企業会計は、水道事業・下水道事業ともに老朽管の更新などを推進する一方、水道事業において城山配水池の増設工事が完了したため、企業会計全体では前年度に比べて1億円（1.3%）の減

水道事業

24億5,604万円（2億881万円減、△7.8%減）

- ◆ 城山配水池整備工事の完了による減
- ◆ 老朽管の更新及び耐震化を推進
- ◆ 28年度で企業債の償還が完了し、有利子負債ゼロを達成

下水道事業

51億3,041万円（1億899万円増、2.2%増）

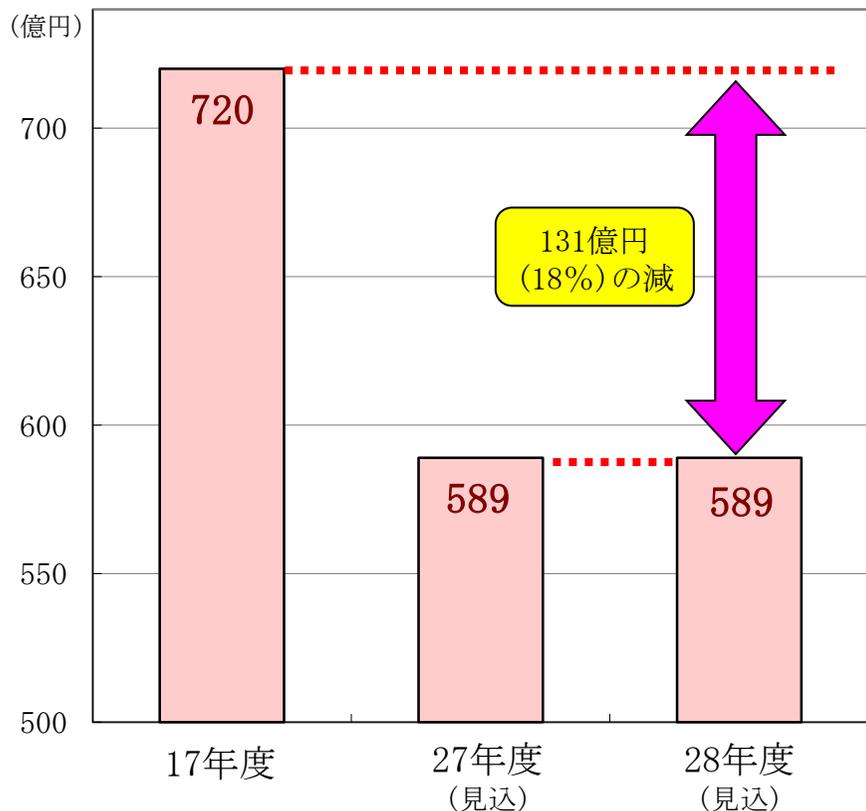
- ◆ 管渠及び処理場の長寿命化を推進
- ◆ 公共下水道及び農業集落排水施設の管理運営

企業会計予算総額

平成28年度	平成27年度	対前年度	
		増減額	増減比
75.9億円	76.9億円	△1.0億円	△1.3%

市債残高及び基金残高の推移

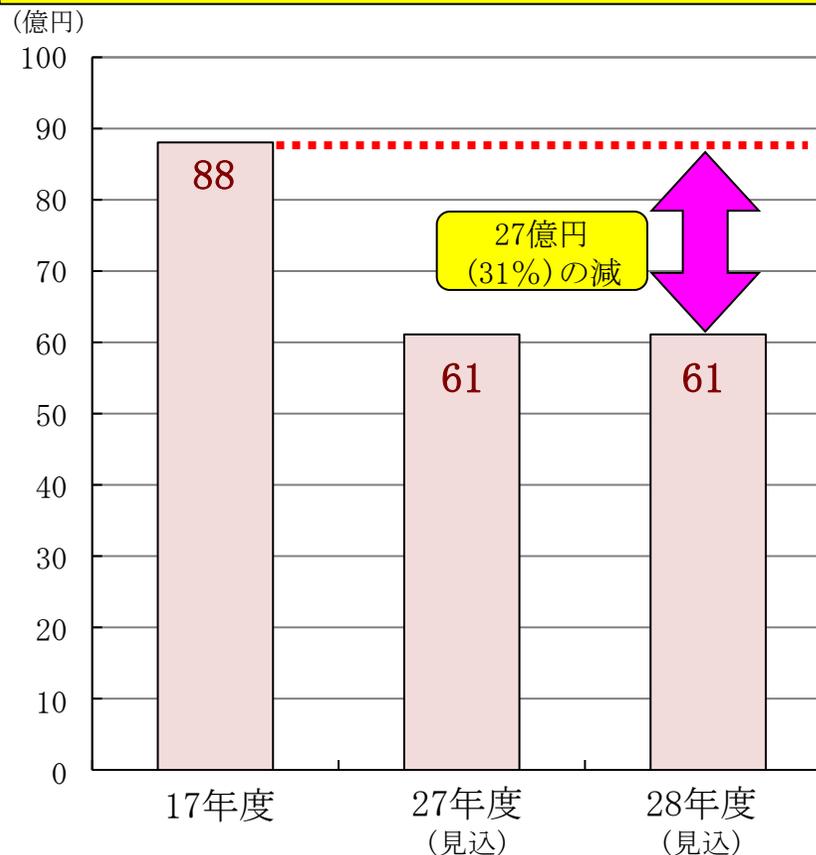
市債残高（全会計）



- ・ 建設工事などの投資的事業を必要最低限に抑制してきたことにより、17年度に比べ131億円の減

※旧病院の清算のために一般会計が水道事業会計から借り入れた額は、市債残高から控除

基金残高



- ・ 収支不足の穴埋めなどにより、17年度に比べ27億円の減

健全化判断比率及び財政指標

1 健全化判断比率

実質公債費比率は、公債費の減少に伴い、実質公債費比率は平成27年度（見込）に比べ、0.8ポイント改善

将来負担比率については、25年度に第三セクター等改革推進債を発行したことなどにより上昇したものの、その後市債残高が減少するなど0.6ポイント改善見込
(単位：%)

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度 (見込)	28年度 (見込)	(参考)	
						早期健全化基準	財政再生基準
実質公債費比率	10.8	8.7	7.2	6.0	5.2	25.0	35.0
将来負担比率	33.7	68.4	55.6	51.2	50.6	350.0	

2 財政指標

人件費や公債費の減少などにより、平成27年度に比べ0.5ポイント改善見込

(単位：%)

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (見込)	28年度 (見込)
経常収支比率	92.8	90.9	89.8	89.7	89.5	89.0

地方創生関連交付金を活用した事業

「しごとづくり」「まちのにぎわいづくり」など喫緊の課題となっている施策を実施するため、国の交付金を次の事業に活用し、平成27年度3月補正予算と平成28年度当初予算とを一体化して三木の創生に取り組みます。

	地方創生加速化交付金 (27年度3月補正予算)		地方創生推進交付金(新型交付金) (28年度当初予算)	
実施事業	地場産業の振興 (金物、山田錦)	市内観光の推進による 市街地の活性化	生涯活躍のまちづくり	ゴルフ振興事業
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 三木金物トータルコーデイナーの設置 三木金物の情報発信 新製品の開発 後継者の人材育成 販売ネットワーク構築 山田錦の振興 	<ul style="list-style-type: none"> 市内観光の振興 歴史・美術の杜みゅーじあむ構想の推進 歩く観光コンシェルジュの育成 別所ゆめ街道の活用 市街地誘導計画の策定(大型集客施設) 	<ul style="list-style-type: none"> 多世代交流拠点の整備 緑が丘をモデルとしたまちの再生 市内交通の利用促進 高齢者の自立生活を支援 	<ul style="list-style-type: none"> 市内で開催されるゴルフ大会のPR ゴルフ場の利用による地域活性化 ジュニアゴルファーの育成 プレミアム付きゴルフ場利用券の発行 ゴルフ場での特産品等の販売を促進
事業費	4,862万円	1億3,807万円	2億5,550万円	5,000万円
うち交付金(見込)	8,000万円		1億2,500万円	

平成27年度3月補正予算の概要

国の補正予算に伴う補助金を活用して、65歳以上の年金生活者等を支援するための給付金や、学校施設の耐震化などのほか、地方創生加速化交付金を活用し、三木の創生を前倒しで行うための事業などを計上しました。

● 補正予算の規模

	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	314億3,701万円	11億1,480万円	325億5,181万円
国民健康保険特別会計	111億6,300万円	6億3,817万円	118億117万円
介護保険特別会計	65億9,447万円	△1億7,603万円	64億1,844万円
後期高齢者医療事業特別会計	10億4,601万円	2,854万円	10億7,455万円
水道事業会計	26億3,737万円	116万円	26億3,853万円
収益的支出	19億907万円	116万円	19億1,023万円
下水道事業会計	48億5,358万円	90万円	48億5,448万円
収益的支出	27億4,278万円	72万円	27億4,350万円
資本的支出	21億1,080万円	18万円	21億1,098万円

● 主な内容

国の補正予算に伴う補助金を活用した事業		その他	
年金生活者等支援臨時福祉給付金	2億7,240万円	北播磨総合医療センターの運営	1億8,971万円
学校・幼稚園施設の改修(耐震化・トイレ改修等)	2億4,299万円	ホースランドパーク・エオの森研修センターの空調改修等	3,800万円
地方創生加速化交付金を活用した事業	1億8,669万円	別所ゆめ街道カフェテラス等の指定管理	(債務負担限度額) 2,700万円
保育所運営費の追加	3,843万円	自由が丘中公園わくわくステーションの増築	1,900万円
情報セキュリティ対策の強化	3,060万円	福井コミュニティセンターの周辺整備	1,500万円